

洗濯機用防水パン(H542-800・H5420S-800)・排水トラップ 洗濯機防水パン・トラップ施工仕様書

工事店様へ

△注意

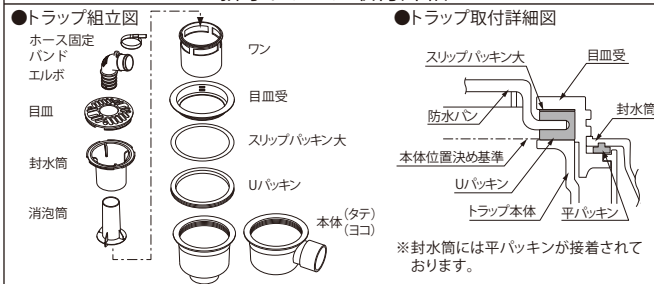
- 工事が完了するまで養生を確実に行ってください。
- プラスチック製品ですので、火気等を近づけないでください。
(トーチランプ等含む) 高温(50℃以上)になることが予想される場所には施工しないでください。
(製品が破損し、水漏れの原因となります。)
- トラップの梱包に入っているUパッキンは、洗濯機防水パンに確実に取り付けてください。(水漏れの原因になります。)
- 製品の用途以外には、使用しないでください。
- 汚れは中性洗剤で拭いてください。
- 排水管接続は、JIS管VP/VU50(呼び50)又は相当品にて確実に施工してください。
(排水管接続部に不備があると水漏れの原因となります。)
- トラップ用開口部は必ず施工手順の指示通りに中間補強板で補強してください。
(防水パンの変形破損・水残りの原因となります。)
- 本製品の施工完了後、安定を確かめてからご使用ください。
- 施工完了後、封水筒が締まっていることを確認してください。
(臭気漏れの原因となります。)
- 排水検査は、防水パン上の汚れを拭き取ってから行ってください。(ホコリ等の汚れが残っていると、防水パン上に水が残ることがあります。)

● 強制

- 防水パンの上に仕上壁を立ち上げないでください。※図1
- 本体に目皿受を組み付け時、ネジ部に潤滑剤を塗布しないでください。
- また、製品にも、シーリング材、潤滑剤等を塗布しないでください。
(潤滑剤等を塗布すると、トラップが割れることがあります。)
- 製品に強い衝撃を与えたり、無理な荷重を加えないでください。※図2
- 塗料、シンナー等を付着させないでください。
製品の上に乗らないでください。
- 製品の上に物を載せたまま移動させないでください。

○ 禁止

排水トラップ取付詳細



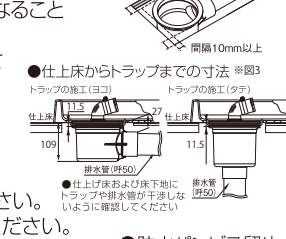
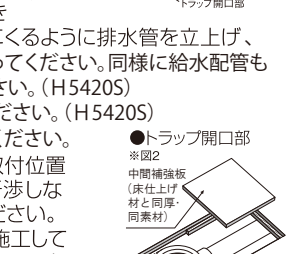
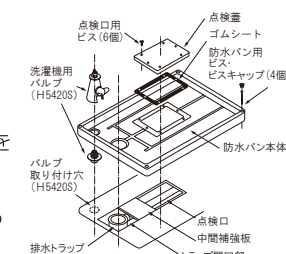
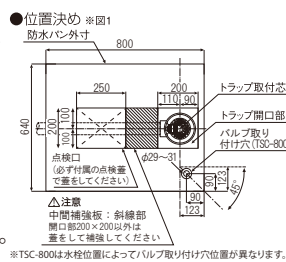
※ご使用前にこの説明書をよくお読み頂き正しく使用してください。
※この取扱説明書は、必ず保管してください。



こちらは防水パン・排水トラップの施工仕様書となります。
洗濯機用バルブの取り扱い・施工については洗濯機用バルブに同封されている施工・取扱説明書を必ずお読みください。

防水パン施工手順

- ※数秒間水を流し、配管内のゴミなどを洗い流してから、止水栓または元栓を開けて取付け作業を行ってください。
- ①防水パン・(バルブ)の設置位置を正確に位置決めしてください。
- ②トラップの位置を確認し、トラップ開口部、バルブ取り付け穴(H5420S)を設けます。
トラップ開口部は図1を参照し200×200以外の部分は蓋をして補強してください。
※トラップ開口部と点検口以外の部分は必ず中間補強板をして補強してください。
※点検口部分は防水パン設置後に付属の点検蓋で蓋をしてください。
(トラップ開口部200×200以外に穴をあけたまま施工した場合、防水パンの破損原因となる場合があります)保証対象外とさせていただきます。
中間補強板は床仕上げ材と同厚・同素材を使用して下さい。
(設置面が平らでないと防水パンの変形破損や防水パン上の水残りの原因となることがあります。)
- ③設定の位置に排水管をのばし(ヨコ引きタイプの場合)、またはトラップ取付芯になるように排水管を立上げ、(タテ引きタイプの場合)仕上げ床を貼ってください。同様に給水配管もバルブ取り付け穴付近まで配管してください。(H5420S)
- ④洗濯機用バルブと防水パンを固定してください。(H5420S)
※詳細は水栓金具の施工仕様書をご確認ください。
- ⑤トラップの芯を合わせ、高さを調節して取付位置を決めください。トラップと開口部縁が干渉しないように10mm以上の間隔を設けてください。
トラップの高さ位置は図3の寸法通りに施工してください。(防水パン上の水残りの原因となることがあります。)
- ⑥トラップ本体と配管を仮接合し、芯高さの確認をしてから接合してください。
- ⑦トラップ本体は床と水平になるように設置してください。
防水パンをトラップの位置にあわせて設置してください。
- ⑧設置面が水平であることを確認してください。
防水パンにトラップを取り付け固定してください。スリップパッキン大をUパッキンの上に置き、目皿受をトラップ締付治具でまわして固定してください。Uパッキンは必ず防水パンに取り付けてください。
※目皿受を組付け時、ネジ部に潤滑剤を塗布しないでください。
(潤滑剤等を塗布すると製品の劣化の原因となります。)
- ⑨ゴムシートを置き、点検蓋を点検口ビスにて固定します。
- ⑩防水パンの4コーナー部を防水パン用ビスにて固定しビスキャップを被せてください。※図4
- 施工完了後は封水筒が締まっている事を確認してください。
※洗濯機用給水ホースは、1.2m以上のものをお使いください。(別売・H5420S)



お客様へ

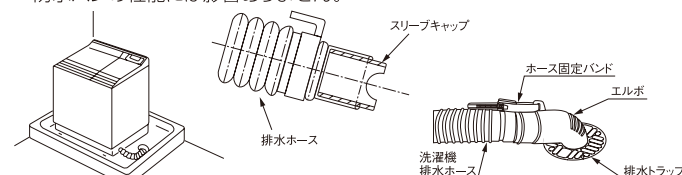
洗濯機防水パン取扱説明書

△注意 人が傷害を負う危険性及び物的損害の発生が想定される内容を示します ●絵表示の例 ●記号は、行為を強制や指示したりするものです。 ○記号は、禁止の行為を示しています。

△注意

- 1) この商品は洗濯機だけを専用に乗せる為の商品です。洗濯機以外の商品は載せないでください。
- 2) 洗濯機防水パンに煙草の投げ捨て等しないでください。
(樹脂製ですので火事になる恐れがあります。)
- 3) 洗濯機の脚が排水トラップの上又は付近にのらないようにしてください。
(破損する場合があります。)
- 4) 洗濯機防水パンに熱湯(50℃以上)やシンナーなどの溶剤を流さないでください。
(変形して水もれの原因になることがあります。)
- 5) 排水トラップの目皿、封水筒以外は、回さないでください。
(排水接続部がゆるみ、水もれの原因になることがあります。)
- 6) 「中性洗剤」及び「洗濯用洗剤」以外は各部品をいためる可能性があるため使用しないでください。
- 7) 洗濯機運転中は洗濯機の下に手を入れないでください。
(ケガをする恐れがあります。)
- 8) 洗濯機付属のスリーブキャップは、ホースとの接続部がゆるい場合のみ使用してください。
(無理やり差込むと、破損の原因になります)
- 9) 洗濯機の排水ホースは、排水トラップについているエルボに、抜けないよう十分差し込んでください。その後ホース固定バンドで確実に締め付けてください。
(差し込みが不完全な場合、接続部より水が漏れることがあります。)
- 10) 製品が汚れた場合は、中性洗剤を使用し、柔らかいスポンジ等で洗ってください。掃除後は、洗剤分が残らないようよく水洗いしてください。
- 11) 重いものを落としたりぶつたりしないでください。特に洗濯機を設置される際、十分注意してください。
(破損する場合があります。)
- 12) 排水トラップ内のゴミ異物等は定期的(年2~3回)に掃除して取除いてください。
(排水がたまって水がオーバーフローして床に浸水する恐れがあります。)

- ◆封水(ワン内部の水)が少なくなると、臭気の原因になります。長期間洗濯機を使用しない場合は、トラップカバー(別売)を使用するか、定期的に水を継ぎ足してください。
- ◆洗濯機足部のゴムと直接接触する面は化学変化で変色する場合がありますが防水パンの性能には影響ありません。



注:スリーブキャップは洗濯機購入時に付属品になっています。
もし紛失した場合は弊社で別途販売致します。

販売元/SANEI(株)
本社 〒537-0023
大阪市東成区玉津1丁目12番29号
お問合せ先 TEL 0120-06-9721

製造元/(株)テクノテック
本社 〒113-0033
東京都文京区本郷3丁目6番6号 本郷OGILVIL3F
TEL 03-5800-4477 FAX 03-5800-4196